

使ってみよう漢方薬（第5回）

歯の痛み、抜歯後疼痛に

疼痛治療に**立効散**を使ってみよう。

歯、歯肉、口腔内の腫張疼痛用の歯科ならではの漢方薬です。胃に負担がかかる、アスピリン喘息があるなど解熱鎮痛薬が使えない方にも使いやすい薬です。鎮痛効果のある生薬だけで構成されており、屯服で使用できます。中の成分の細辛は局所麻酔作用があり、直接作用でも痛みが取れるので、口の中で、患部に薬を効かせたうえで内服するとより鎮痛効果が期待できます。この薬でうがいして、吐き出すだけでもある程度、鎮痛作用が期待できます。口内炎、舌痛症や三叉神経痛にも効果があります。

立効散の成分と作用

防風	細辛	升麻	竜胆	甘草	鎮痛作用
		升麻	竜胆		清熱作用（抗炎症作用）：青字の生薬は体を冷やす
防風	細辛				辛温解表作用
		升麻			辛涼解表作用
			甘草		調和緩和健胃作用
	細辛				局所麻酔作用

この薬は青赤のバランスが良い
：赤字の生薬は体を温める
：解表 表の症状を解く
表裏双解：表裏の症状を解く

歯科適応製剤の使い分け

三叉神経痛

- 1 葛根湯
- 17 五苓散
- 110 立効散

口内炎

- 14 半夏瀉心湯
- 120 黄連湯
- 135 茵陳蒿湯
- 48 十全大補湯
- 1 葛根湯
- 34 白虎加人参湯
- 17 五苓散
- 110 立効散

保険病名

- 三叉神経痛
- 口渇、浮腫
- 歯痛、抜歯後疼痛

保険病名

- 口内炎
- 口内炎
- 口内炎
- 病後の体力低下、貧血
- 三叉神経痛
- 口腔乾燥症、ほてり
- 口腔乾燥症、浮腫
- 抜歯後疼痛、歯痛

使い分け

- 肩こりや冷えをとまなう。眠気悪天候時に痛い。
- 歯や口腔粘膜が痛い。

使い分け

- 神経性胃炎、下痢、うがいで効果あり
- 急性胃炎 胃痛
- 黄疸、便秘
- 手術後や癌など
- 肩こりや冷え、炎症、眠気
- 体が熱いとき
- 下痢、嘔吐、むくみ、口渇、天気痛
- 痛みが強いとき、うがいで効果あり

りっこうさん

立効散 110

表裏双解剤・止痛剤

【効能効果】

抜歯後の疼痛、歯痛

防風 細辛 升麻



竜胆 甘草